

2000年11月上旬発売！
限定復刊 500セット！

○予約販売○

筑摩書房創業六十周年記念企画

白井吉見

あずみの

安曇野

全5巻

(セット販売のみ)

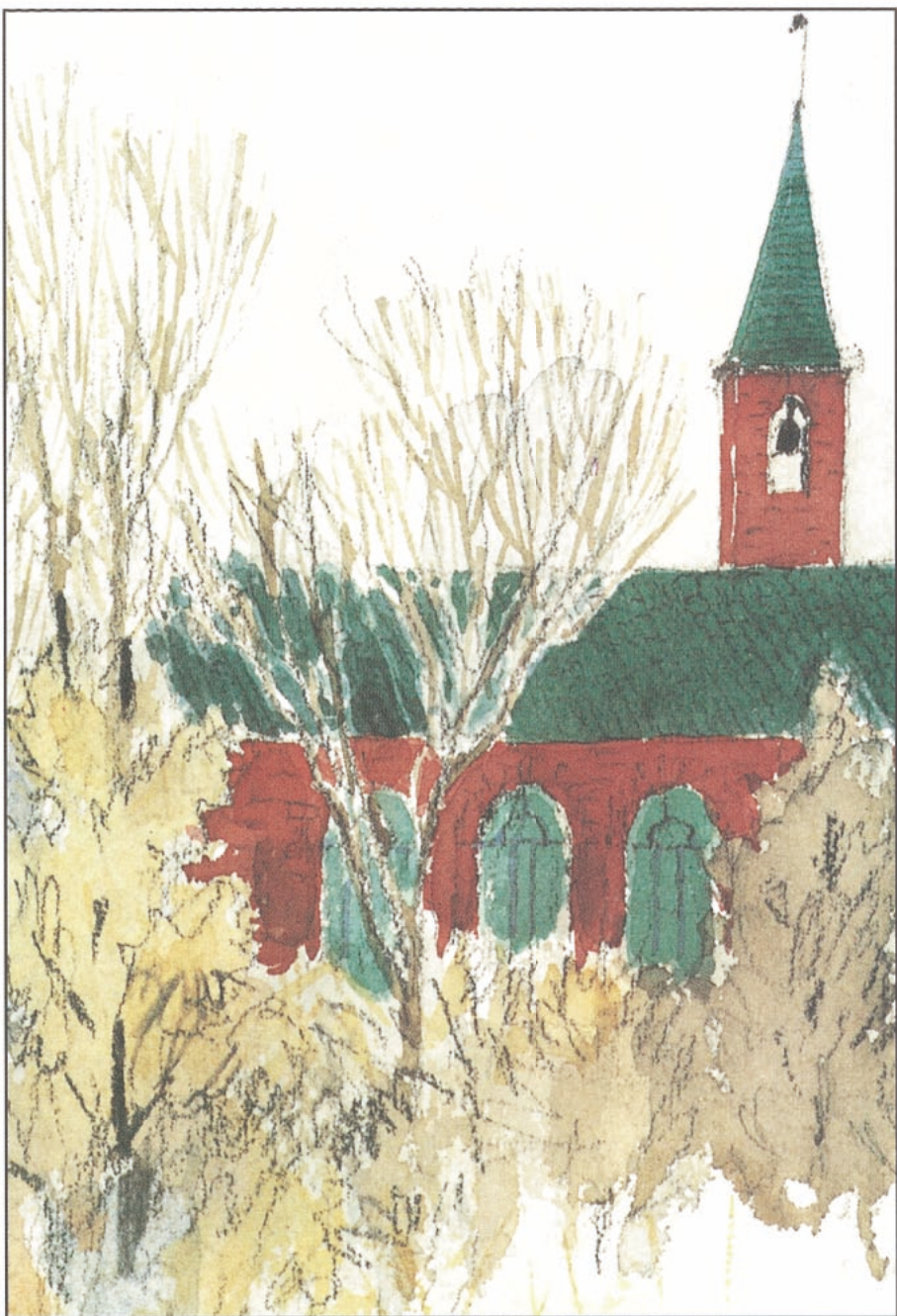
セット定価(本体価格一七〇〇〇円+税)

筑摩書房

〒111-8755 東京都台東区蔵前 2-5-3

筑摩書房サービスセンター

TEL 048(651)0053



「碌山美術館」 安野光雅「安曇野」(文藝春秋)より

新宿・中村屋の創業者相馬愛蔵・黒光夫妻、木下尚江、萩原碌山、研成義塾の井口喜源治ら、信州安曇野に結ばれた若い五人の仲間の活動を中心に、明治から現代までの激動する社会、思潮、文化をダイナミックに描く本格大河小説。

「新しい女」黒光と夫・愛蔵らの澁刺とした動きを追いつつ、新文化創造の気みなぎる明治を描写した第一部。ロダンとめぐり会いながらその感性を自滅させていった碌山の悲劇に日本近代を重ねた第二部。新宿・中村屋に集まるエロシエンコ、ボースらの人間群像と、大正時代を彩る強烈な個性の大杉栄、伊藤野枝、有島武郎、幸徳秋水らのドラマの第三部。そして昭和初期から敗戦、戦後の混乱をへて現代まで。

十年の歳月をかけた渾身の大河小説。谷崎潤一郎賞受賞。

歴史の脈搏

唐木順三

四年間の闘病を中にはさんで前後十年を費した五千六百枚の大作。登場人物は四ケタにもものぼるだろう。(天皇、大臣、将軍、学者、作家、実業家、それに革命家、小学教員、補充兵等々。)その数量において、そのヴァライテイにおいて未曾有であることによって既成の小説の枠を超えている。明治三十一年、安曇野の湧き水のほとりから始まり、曲折し、時に氾濫しながら流れ下る七十五年の日本の近代史深く実証にくぐり、まれには架空に遊び、時に悠揚、時に峻厳な筆致によって描きだされた人物群像。然もそのいちいちに作者のいぶきがかかり、取捨、評価、造型の責任を余すところなく作者自身が負っている。それが大河小説といわれる所以である。私は作者の気魄とともに、歴史ヒストというものの生命、その脈搏をこの作に感じる。

小説の愉しみ、醍醐味が味わえる！
いきいきと描かれる人間群像！

相馬愛蔵・黒光、木下尚江、荻原礫山、井口喜源治、中原悌二郎、中村彝、平民社、パンの会、エロシエンコ、ボース、大杉栄、伊藤野枝、神近市子、田中正造、有島武郎、松井須磨子、幸徳秋水、堺枯川、福田英子、清沢洌、石川三四郎、……
唐木順三、古田晁……

主な登場人物

セット

白井吉見

安曇野

(全5巻)セット

申し込めます。

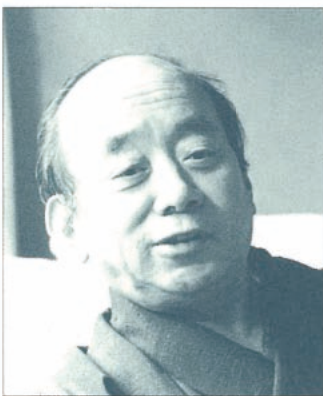
セット定価
(本体価格 17000円+税)
I SBN 4-480-80000-X

手になじむ布装貼函入！



四六判・函入上製・9ポイント一段組

著者の横顔



うすい・よしみ

1905(明38)～1987(昭62)

白井吉見

長野県生まれ。当作品中の多くの登場人物と同郷。編集者、

評論家、小説家。松本高校を経て東京帝国国文科卒。教員生活の後、同窓の古田晁、唐木順三、中村光夫らと一九四〇年、筑摩書房を創立。戦後、思想・文芸誌『展望』を創刊。中野重治、太宰治らの代表作も掲載した。また幅広い社会性をもった文化評論・文芸評論家としても知られる。

お名前

ご住所

お電話

筑摩書房